研究実施についてのお知らせ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和元年7月1日

【研究課題名】

　人工鼻回路におけるメインストリーム型EtCO2センサの取り付け位置の検討

【研究期間】

承認日 〜 2022年7月31日

【研究対象】

倫理申請承認後　〜　2019年12月31日の間に集中治療室に入室した、20歳以上の患者さんで、妊娠をしておらず、人工呼吸器で呼吸補助を受けている方を対象としています。

【研究目的・意義】

　人工呼吸器を使用している患者さんにおいて、呼気中の二酸化炭素（以下「CO2」） をモニタすることは患者さんが換気を行えているかどうかを評価する指標となり、臨床上有用とされています。

　当院集中治療室でも人工呼吸器を使用している患者さんには呼気中のCO2を測定していますが、「人工鼻」という加湿フィルタ付きの呼吸回路を使用した際に、測定位置が患者さんに近い位置（以下：「患者側」）、回路に近い位置（以下「回路側」）の二通りの選択肢があります。それぞれの測定位置で利点、欠点がありますが、どの位置を優先的に選択すれば良いかの測定位置に関する比較検討を行った文献や研究がありません。「回路側」で測定される呼気中のCO2値が「患者側」と比較して、劣らず正確であることを確かめることを目的に当院集中治療室では臨床研究を行っています。

　本研究を行う事でより効率的で測定の質が損なわれない呼気中CO2値の測定方法を提供できるようになると考えています。

【研究方法】

本研究では、人工鼻付き呼吸回路で人工呼吸器を使用している患者さんの呼気中のCO2を「患者側」と「回路側」の2か所で測定します。また通常の診療で取得された情報のみを用いますので、追加の検査や治療、費用などは生じません。

【研究に用いられる情報の種類】

情報：入院時の年齢、性別、血圧、呼吸数、体温などといった本人の情報に加え、人工呼吸器の設定状況などの日常診療を行う上で取得された範囲の情報が用いられます。なお、収集した情報は患者さんの名前などの個人情報を外した状態で保管されます。

【外部への資料・情報の提供】

本研究は沖縄県立中部病院集中治療室のみで行う研究であり、外部への資料・情報の提供は一切ありません。

【個人情報の取扱い】

　厚生労働省より通知されている「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し実施します。本研究により得られた被験者の情報を扱う際には、個人情報とは関係のない番号を付して匿名化し、匿名化に用いる対応表は、臨床工学科控室で施錠できる保管庫で管理します。データのPCへ入力等全般の作業は病院内で行い、院外へデータおよび作業用PCを持ち出さないようにします。PC本体には盗難対策措置も併せて行います。論文作成時、また学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に協力を望まれない場合はいつでも参加をとりやめることができるので遠慮なく申し出てください。申し出により不利益を受けることは一切ありません。その他、研究に関する全ての問い合わせは下記に表記した連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

沖縄県立中部病院　臨床工学科　担当者名：玉城　智

沖縄県うるま市宮里281番地

TEL：098-973-4111 （内線：2099）

【研究組織】

　研究責任者

玉城　智　臨床工学技士　沖縄県立中部病院　臨床工学科

研究分担者

中山　泉　　医師　 沖縄県立中部病院　集中治療部

　宜保光一郎　医師　 沖縄県立中部病院　救急科

　井澤純一　医師　  University of Pittsburgh Medical Center for Critical

Care Nephrology、 沖縄県立中部病院客員研究員

　小澤伸哉　臨床工学技士　沖縄県立中部病院　臨床工学科

　兼島大知　臨床工学技士　沖縄県立中部病院　臨床工学科

　亀谷　昂　臨床工学技士　沖縄県立中部病院　臨床工学科

　又吉大裕　臨床工学技士　沖縄県立中部病院　臨床工学科

　外間美和子　看護師　沖縄県立中部病院　ICU

　玉城秀雄　　看護師　沖縄県立中部病院　ICU